



2018年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2018年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 クラリオン株式会社

コード番号 6796

URL <http://www.clarion.com>

代表者 (役職名) 執行役社長兼COO

(氏名) 川端 敦

問合せ先責任者 (役職名) 執行役経営戦略本部長

(氏名) 平山公之

(TEL) 048-601-3700

四半期報告書提出予定日 2018年2月9日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2018年3月期第3四半期の連結業績（2017年4月1日～2017年12月31日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		調整後営業利益 ※		税引前四半期利益		親会社株主に 帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年3月期第3四半期	135,698	△5.3	4,746	△35.6	3,877	△47.2	2,135	△59.9	3,893	△29.9
2017年3月期第3四半期	143,293	△11.4	7,365	△4.3	7,348	△1.9	5,331	△5.4	5,557	13.1

	基本1株当たり親会社株主に 帰属する四半期利益		売上収益 調整後営業利益率	
	円	銭	円	%
2018年3月期第3四半期	7.58			3.5
2017年3月期第3四半期	18.91			5.1

※ 当社は、親会社の日立製作所を中心とする日立グループ統一の利益指標である「調整後営業利益」を連結経営成績に関する指標として用いています。

「調整後営業利益＝売上収益－売上原価－販売費及び一般管理費」により計算しています。

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社株主持分		親会社株主持分比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年3月期第3四半期	133,927		46,904		46,724		34.9	
2017年3月期	129,413		43,864		43,709		33.8	

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
2017年3月期	-	-	-	3.00	3.00
2018年3月期	-	-	-	-	-
2018年3月期(予想)	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2018年3月期の配当につきましては、業績等を考慮して検討いたします。

3. 2018年3月期の連結業績予想（2017年4月1日～2018年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		調整後営業利益		税引前当期利益		親会社株主に 帰属する当期利益		基本1株当たり 親会社株主に 帰属する当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	180,000	△7.6	7,500	△33.3	3,500	△68.2	1,000	△87.1	3.55	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(セグメント情報) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における世界経済は、資源価格の上昇や設備投資の回復等を背景に改善傾向が持続しております。こうした中で、わが国の経済も、円安や輸出の増加を背景に、景気は緩やかな回復基調が続いております。

当社グループの関連する自動車産業界では、自動運転、EV(Electric Vehicle)、コネクテッド等の拡大を見据え、異業種からの参入や様々な提携が活発に行なわれ、競争環境はグローバルに激化しております。その中で、当社グループは従来から掲げている企業戦略である「車両情報システムソリューションプロバイダー」の実現に向け、「事業ポートフォリオの変革」「グローバル市場でのビジネス拡大」「事業構造改革の断行」を確実に進め、将来の成長に向けた確固たる基盤作りにつとめてまいります。

当第3四半期連結累計期間における連結業績の概要は次のとおりであります。

当社グループにおきましては、第3四半期のアジア・豪州は増収となりましたが、日本の減収幅が拡大し、第3四半期累計期間での売上収益は1,356億98百万円と前年同期比5.3%の減収となりました。

損益面につきましては、固定費及び変動費低減の推進等を継続的に実行したものの、売上減収により調整後営業利益は47億46百万円と前年同期比35.6%の減益となりました。営業利益につきましても42億5百万円と前年同期比44.9%の減益となりました。税引前四半期利益は38億77百万円と前年同期比47.2%の減益となりました。親会社株主に帰属する四半期利益は21億35百万円と前年同期比59.9%の減益となりました。

セグメント別の業績概要は次のとおりであります。各セグメントの売上収益は外部顧客に対する売上収益を記載しており、各セグメントの利益は、営業利益であります。

#### (日本)

国内では第2四半期までのカーディーラー向けオプション製品の販売低迷に加えて、第3四半期ではOEM(相手先ブランドによる生産)製品の売上減が影響し、減収幅が拡大しました。その結果、当セグメントの売上収益は431億4百万円と前年同期比15.9%の大幅減収となりました。損益面につきましては、全社をあげた固定費低減及び原価低減活動を推進しましたが、減収影響を賄うことができず、営業利益は1億32百万円と前年同期比95.9%の減益となりました。

#### (米州)

米国では自動車販売が前年同期を下回っている市場環境下において、当セグメントの売上収益は608億6百万円と前年同期比6.0%の減収となりました。損益面につきましては、変動費の改善等により、営業利益は19億38百万円と前年同期比2.7%の増益となりました。

#### (欧州)

ロシアを含む欧州では、好調な自動車販売を背景にOEM製品の売上増があり、当セグメントの売上収益は95億36百万円と前年同期比3.0%の増収となりました。損益面につきましては、欧州の販売体制見直しに伴う費用計上等により、5億19百万円の営業損失(前年同期は31百万円の営業損失)となりました。

#### (アジア・豪州)

中国では第3四半期に、民族系カーメーカー向け事業の拡大がありました。また、インドネシア等のアジア諸国のOEM市場向けも回復した事により、当セグメントの売上収益は222億51百万円と前年同期比23.2%の増収となりました。損益面につきましては、中国での開発費を中心とした費用の増加等により、営業利益は22億22百万円と前年同期比20.7%の減益となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間の決算に使用した損益為替レートは以下のとおりであります。

		第1四半期	第2四半期	第3四半期
当期為替レート	米ドル	約111円	約111円	約113円
	ユーロ	約122円	約130円	約133円
前期 (参考)	米ドル	約108円	約102円	約109円
	ユーロ	約122円	約114円	約118円

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の資産につきましては、総資産が1,339億27百万円であり、前連結会計年度末より45億14百万円増加いたしました。このうち、流動資産は821億24百万円であり、前連結会計年度末より90億8百万円増加いたしました。主に、現金及び現金同等物が39億56百万円増加、棚卸資産が28億94百万円増加したことによります。非流動資産は518億3百万円であり、前連結会計年度末より44億93百万円減少いたしました。主に、有形固定資産及び無形資産が36億95百万円減少、保有株式の売却により有価証券及びその他の金融資産が11億40百万円減少しております。

負債につきましては、870億23百万円であり、前連結会計年度末より14億74百万円増加いたしました。

資本につきましては、親会社株主持分が467億24百万円であり、前連結会計年度末より30億15百万円増加いたしました。配当金支払がありましたものの、四半期利益及び保有株式売却益の計上により、利益剰余金が18億95百万円増加いたしました。また、その他の包括利益累計額が11億27百万円増加いたしました。この結果、親会社株主持分比率は34.9%となりました。

### (連結キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、227億19百万円(前年同期末残高は240億71百万円)となりました。

営業活動に関するキャッシュ・フローにつきましては、棚卸資産及び売上債権の増加がありましたものの、四半期利益、減価償却費及び無形資産償却費等の計上、買入債務の増加等により、86億25百万円の収入(前年同期は180億3百万円の収入)となりました。

投資活動に関するキャッシュ・フローにつきましては、有形固定資産及び無形資産の取得による支出、有価証券及びその他の金融資産の売却による収入等により、35億95百万円の支出(前年同期は69億36百万円の支出)となりました。

財務活動に関するキャッシュ・フローにつきましては、配当金の支払等により、14億63百万円の支出(前年同期は15億62百万円の支出)となりました。

### 資金調達の概要

2017年9月にシンジケート方式によりタームローン90億円を再組成いたしました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2017年5月10日の「2017年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想を修正しました。詳細につきましては、本日(2018年1月30日)公表の「通期業績予想の修正及び事業ポートフォリオ改革の加速に伴う経営資源の選択集中による一時費用計上に関するお知らせ」をご参照ください。

2018年3月期通期連結業績予想数値の修正(2017年4月1日～2018年3月31日)

	売上収益	調整後営業利益	税引前当期利益	親会社株主に帰属する当期利益	基本1株当たり親会社株主に帰属する当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	200,000	10,500	10,000	7,000	24.84
今回予想 (B)	180,000	7,500	3,500	1,000	3.55
増減額 (B-A)	△20,000	△3,000	△6,500	△6,000	—
増減率 (%)	△10.0	△28.6	△65.0	△85.7	—
(ご参考)前期実績(2017年3月期)	194,841	11,241	10,992	7,727	27.42

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位 百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2017年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び現金同等物	18,763	22,719
売上債権	29,231	30,383
未収入金	1,712	1,428
棚卸資産	20,494	23,388
その他の金融資産	522	1,059
その他の流動資産	2,391	3,144
流動資産合計	73,116	82,124
非流動資産		
有形固定資産	24,153	23,597
無形資産	24,609	21,470
持分法で会計処理されている投資	1,305	1,325
有価証券及びその他の金融資産	1,998	858
繰延税金資産	3,030	3,270
その他の非流動資産	1,198	1,281
非流動資産合計	56,297	51,803
資産の部合計	129,413	133,927

(単位 百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2017年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	239	269
償還期長期債務	9,663	6,286
買入債務	23,891	28,270
未払金	7,381	5,314
その他の金融負債	185	499
未払費用	9,681	7,913
未払法人所得税	1,458	2,603
引当金	609	694
その他の流動負債	393	1,131
流動負債合計	53,504	52,984
非流動負債		
長期債務	20,893	24,162
その他の金融負債	1,908	1,436
退職給付に係る負債	8,620	7,766
引当金	401	450
その他の非流動負債	220	223
非流動負債合計	32,044	34,039
負債の部合計	85,548	87,023
<b>資本の部</b>		
親会社株主持分		
資本金	20,346	20,346
利益剰余金	21,260	23,156
その他の包括利益累計額	2,256	3,383
自己株式	△154	△162
親会社株主持分合計	43,709	46,724
非支配持分	154	179
資本の部合計	43,864	46,904
負債・資本の部合計	129,413	133,927

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)
売上収益	143,293	135,698
売上原価	117,347	112,540
売上総利益	25,946	23,158
販売費及び一般管理費	18,581	18,412
調整後営業利益	7,365	4,746
その他の収益	395	404
その他の費用	126	945
営業利益	7,634	4,205
金融収益	135	144
金融費用	596	492
持分法による投資利益	175	20
税引前四半期利益	7,348	3,877
法人所得税費用	2,011	1,730
四半期利益	5,336	2,146
四半期利益の帰属：		
親会社株主持分	5,331	2,135
非支配持分	5	11
基本1株当たり親会社株主に帰属する 四半期利益：	18.91円	7.58円

要約四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)
四半期利益	5,336	2,146
その他の包括利益		
純損益に組み替えられない項目		
その他の包括利益を通じて測定する 金融資産の公正価値の純変動額	198	△66
純損益に組み替えられない項目合計	198	△66
純損益に組み替えられる可能性がある 項目		
在外営業活動体の換算差額	123	1,730
キャッシュ・フロー・ヘッジの 公正価値の純変動額	0	△6
持分法のその他の包括利益	△101	88
純損益に組み替えられる可能性がある 項目合計	22	1,812
その他の包括利益合計	220	1,746
四半期包括利益	5,557	3,893
四半期包括利益の帰属：		
親会社株主持分	5,569	3,868
非支配持分	△11	24



(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)

(単位 百万円)

	親会社株主持分					非支配持分	資本の部 合計
	資本金	利益剰余金	その他の 包括利益 累計額	自己株式	合計		
期首残高	20,346	14,124	3,366	△148	37,688	166	37,855
変動額							
四半期利益		5,331			5,331	5	5,336
その他の包括利益			237		237	△16	220
四半期包括利益合計		5,331	237		5,569	△11	5,557
親会社株主に対する配当金		△845			△845		△845
自己株式の取得				△2	△2		△2
利益剰余金への振替		1	△1		—		—
変動額合計	—	4,487	235	△2	4,720	△11	4,709
期末残高	20,346	18,612	3,602	△151	42,409	155	42,564

当第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

(単位 百万円)

	親会社株主持分					非支配持分	資本の部 合計
	資本金	利益剰余金	その他の 包括利益 累計額	自己株式	合計		
期首残高	20,346	21,260	2,256	△154	43,709	154	43,864
変動額							
四半期利益		2,135			2,135	11	2,146
その他の包括利益			1,733		1,733	13	1,746
四半期包括利益合計		2,135	1,733		3,868	24	3,893
親会社株主に対する配当金		△845			△845		△845
自己株式の取得				△8	△8		△8
利益剰余金への振替		605	△605		—		—
変動額合計	—	1,895	1,127	△8	3,015	24	3,039
期末残高	20,346	23,156	3,383	△162	46,724	179	46,904

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)
営業活動に関するキャッシュ・フロー		
四半期利益	5,336	2,146
四半期利益から営業活動に関する キャッシュ・フローへの調整		
減価償却費及び無形資産償却費	8,640	8,530
法人所得税費用	2,011	1,730
持分法による投資利益	△175	△20
金融収益及び金融費用	461	348
固定資産売却等損益	△9	106
売上債権の増減	2,746	△537
棚卸資産の増減	△1,839	△2,501
買入債務の増減	4,129	3,800
引当金の増減	36	110
退職給付に係る負債の増減	△171	△975
その他	△923	△2,819
小計	20,243	9,919
利息の受取	81	121
配当金の受取	78	128
利息の支払	△215	△175
法人所得税の支払	△2,184	△1,367
営業活動に関するキャッシュ・フロー	18,003	8,625
投資活動に関するキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得	△1,644	△2,245
無形資産の取得	△5,356	△2,764
有形固定資産の売却	23	239
有価証券及びその他の金融資産の取得	△101	△11
有価証券及びその他の金融資産の売却	88	1,116
その他	53	69
投資活動に関するキャッシュ・フロー	△6,936	△3,595
財務活動に関するキャッシュ・フロー		
長期借入債務による調達	—	23,600
長期借入債務の償還	△720	△24,215
配当金の支払	△845	△845
未払配当金の増減	6	4
自己株式の取得	△2	△8
財務活動に関するキャッシュ・フロー	△1,562	△1,463
現金及び現金同等物に係る為替変動による 影響	240	389
現金及び現金同等物の増減	9,744	3,956
現金及び現金同等物の期首残高	14,326	18,763
現金及び現金同等物の期末残高	24,071	22,719

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)

(単位 百万円)

	報告セグメント					調整額	合計
	日本	米州	欧州	アジア・豪州	計		
売上収益							
外部顧客への売上収益	51,265	64,710	9,259	18,058	143,293	—	143,293
セグメント間の売上収益	51,243	2,441	2,373	36,962	93,020	△93,020	—
計	102,508	67,152	11,632	55,020	236,313	△93,020	143,293
調整後営業利益又は損失(△)	3,028	1,862	△46	2,729	7,573	△208	7,365
セグメント利益又は損失(△)	3,225	1,888	△31	2,803	7,886	△252	7,634
金融収益	—	—	—	—	—	—	135
金融費用	—	—	—	—	—	—	596
持分法による投資利益	—	—	—	—	—	—	175
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	7,348

(注) セグメント利益は、要約四半期連結財務諸表上の営業利益と調整を行っております。セグメント利益又は損失の調整額△252百万円は全額セグメント間取引消去であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

(単位 百万円)

	報告セグメント					調整額	合計
	日本	米州	欧州	アジア・豪州	計		
売上収益							
外部顧客への売上収益	43,104	60,806	9,536	22,251	135,698	—	135,698
セグメント間の売上収益	46,322	1,325	2,858	36,655	87,161	△87,161	—
計	89,426	62,131	12,395	58,906	222,859	△87,161	135,698
調整後営業利益又は損失(△)	489	1,907	△400	2,308	4,305	440	4,746
セグメント利益又は損失(△)	132	1,938	△519	2,222	3,774	431	4,205
金融収益	—	—	—	—	—	—	144
金融費用	—	—	—	—	—	—	492
持分法による投資利益	—	—	—	—	—	—	20
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	3,877

(注) セグメント利益は、要約四半期連結財務諸表上の営業利益と調整を行っております。セグメント利益又は損失の調整額431百万円は全額セグメント間取引消去であります。